

# おち町

議会だより OCHI TOWN

No.94

2010年11月1日発行  
高知県越知町議会

みんなで遠足に来ました（宮ノ前公園）

## 9月定例会

- 一般会計補正3億2930万円 .....2  
グラウンド整備や町営住宅用地費など
- 平成22～27年度のまちづくり（過疎計画） .....5
- 議会改革を目指す特別委員会を設置 .....9
- 高齢者福祉や道路整備などを問う（一般質問） .....10

# 総合グラウンド整備などに3億

# 2930万円

## 議会改革特別委員会を設置

9月定例会は、10日から14日までの会期で開き、22年度一般会計と各特別会計の補正予算6件、過疎地域自立促進計画および21年度各会計決算を全会一致で可決・認定しました。

一般質問は7人が登壇し、福祉問題や道路整備などについて執行者の考えをいただきました。

また、議会改革調査特別委員会の設置を全会一致で可決し、議会および議員の役割を見直し、今後の議会運営のあり方や議会の活性化についての研究を行うことにしました。

# 学習センター跡に町営住宅を計画

周辺土地購入に3000万円

**総務費**  
財政調整基金積立に2220万円、町民会館の階段にいます式昇降機の設置、桐見川ハス待合所の新設工事など。

**民生費**  
あつたかふれあいセンター事業の委託費490万円など。

**衛生費**  
南片岡および西浦の水道施設整備費1200万円など。

**農林水産業費**  
有害鳥獣対策費、農道京塚線橋りょう拡幅工事、林道桐見川白石川線等管理組合負担金など。

**商工費**  
移動販売車両購入補助金148万円。  
おち駅施設整備工事や片岡希望公園、鎌井田沈下橋、横倉山などに案内看板の設置費など。

**土木費**  
道路修繕および改良、側溝改修工事などに7290万円。道路用地費1500万円。  
町営住宅悪質入居者の強制退去に伴う弁護士費用など。

**消防費**  
南片岡の水道工事に伴った消火栓新設工事など。

**教育費**  
中大平公民館の取り合わせ道路工事およびエアコン購入など。  
総合グラウンド施設整備およびテニスコートトイレ配管改修工事などに9220万円。

**土地取得特別会計**  
3区の学習センター跡地に計画している公営住宅建設のため、周辺の用地購入費に3000万円。

## 9月補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億2930万円	41億8383万円	
特別会計	簡易水道	131万円	8030万円
	老人保健	154万円	286万円
	介護保険	2131万円	9億9018万円
	土地取得	3000万円	3021万円
	自然の森博物館	75万円	2565万円



ドッグス田で園児と選手が稲刈り  
採れたお米はみんなていただきます

**桐見川方面バス  
終点が龍王公園に**

**片岡清則議員** 桐見川バス待合所の内容と設置場所は、

**大原総務課長** 西浦の道路の外側に設置する。内容は地区の要望などを検討中で決まっていない。また、バスの終点を西浦から龍王公園に変更する。

**南片岡  
水道管理が楽に**

**藤原俊夫議員** 南片岡の水道工事は、榑ノ瀬と南片岡の下の端の家は対象になつていないか。また、工事の内容は、

**山本環境水道課長** 南片岡7世帯が対象で、今の水源地にウォータースクリーンを設置し、配水池には新たなろ過装置を設置して管理をしやすくする。  
榑ノ瀬と下の端の家は対象ではない。

**移動販売車両の  
買い替えに補助金**

**武智龍議員** 食料品販売車両購入補助の業者と販売先は、

**小田産業建設課長** 有限会社こだやの移動販売車両の買い替えのため、県と町が各3分の1を補助する。販売先は主に桐見川方面と仁淀川町長者方面。

**鳥獣駆除補助金  
1万円アップ**

**片岡久一郎議員** 有害鳥獣被害対策補助金の内容は、

**小田産業建設課長** 今までは駆除の補助金は、イノシシは1万円、サルは2万円だったが、10月からイノシシは2万円、サルは3万円とする。

**町道大平線  
舗装を全線改修**

**寺村晃幸議員** 町道栃ノ木線の側溝新設工事の内容は、また、町道大平線の舗装の内容は、

**小田産業建設課長** 町道栃ノ木線は集落内に324軒を計画している。ほとんど

ふた掛けとする。

町道大平線の舗装は、県道分岐から2.6キロを2年間で改修する。

**武智龍議員** 道路橋りよ

**小田産業建設課長** 町道

山室線「キリン」横の拡幅と小学校体育館西側へ道路を新設するための用地費。

**片岡清則議員** 林道桐見

川白石川線等管理組合負担金の内容は、

**小田産業建設課長** 仁淀

川町と2分の1ずつ負担するもので、先に想定外の災害があったため、不足する今後の管理費分に充てる。

**総合グラウンド  
防球ネット**

**寺村晃幸議員** 計画図には1塁側に防球ネットが示されていないが、必要になると次年度に追加するの。

**北添教育次長** ファウル

ボールの方向を業者に調べてもらっており、その結果によって天井ネットやその他のネットの計画を決める。練習試合に向

けての最終整備であり、今の予算内で整備する。

**中大平公民館  
車いすで上がれる**

**片岡清則議員** 中大平公民館の取り合わせ道路の完成時期は、

**北添教育次長** 車いすで上がるように計画している。今、用地の交渉を依頼しており、解決すればできるだけ早く完成させたい。



今は階段だけの中大平公民館

# 平成22～27年度のまちづくり

## 過疎地域自立促進計画

### 過疎地域自立促進特別措置法

【平成22年度～平成27年度】

人口が減って高齢化が進み、活力が低下した地域に計画的に必要な特別措置を講じて地域の自立を図る。

町の自立促進計画によって行う事業に、国の補助のかさ上げや有利な地方債（過疎対策事業債・借金）の発行ができ、その返済金の7割が後に地方交付税として町に交付される。

また、地域医療や身近な生活交通の確保、集落活性化の人材育成、伝統文化の継承などのソフト事業が加えられた。

### 産業の振興

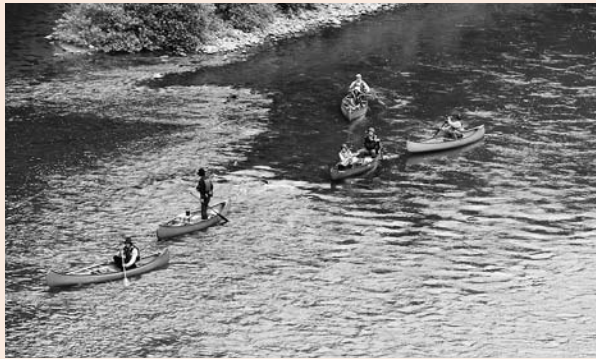
観光物産館おち駅販売促進、町民総合運動場グラウンド整備。有害鳥獣対策、体験型観光の推進や観光イベント補助事業など。

### 生活環境の整備

上水道施設の耐震化および老朽管の布設整備。宮ヶ奈路・今成地区の簡易水道整備、下水道長寿命化計画。防火水槽、ヘリポート整備など。

### 交通通信体系の整備、情報化、地域間交流の促進

町道野老山中村線、今成深瀬線、浅尾谷口線、熊秋加枝ヶ谷線などの新設改良・舗装工事。林道小日浦線、白石横倉線などの開設工事。携帯電話等エリア整備や防災行政無線施設のデジタル化、テレビ放送難視聴地域の解消、ブロードバンド運営など。



仁淀川を生かした体験型観光

### 保健福祉

保育園の耐震補強および大規模改修工事。高齢者あつたかふれあいセンター事業など。

### 教育の振興

中学校屋内運動場・プール改築工事、給食共同調理場工事。幼稚園の耐震補強および改修工事、少子化対策など。

### 集落の整備

移動販売車両購入補助など。



改築計画の中学校体育館とプール

### 斎藤政広議員

22 | 23

年に計画の防災行政無線施設の整備の内容は、

戸別受信化も大事だが、屋外でも聞こえる対策を。

**大原総務課長** デジタル化を行う。基本的には今と同じで、外で聞こえる方法だが、聞こえにくい家は戸別受信機で対応する。

**武智龍議員** 携帯電話等の不感地区の整備に桐見川地区が入っていないが。

**大原総務課長** ドコモに関しては、桐見川は不感地区でないと言っている。

# 歳出総額 68億8,701万円

平成21年度の各会計決算並びに基金の運用状況は、9月定例会で審議し全会一致で認定しました。

## 監査委員意見(要旨)

池裕生・寺村晃幸

### 一般会計

#### 経済対策で決算増

前年に比べ歳入で7億1500万円、歳出で7億179万円と大幅に増額している。

歳入増の要因は、国の経済対策の臨時交付金、県支出の雇用対策、さらに臨時対策債の増加によるもので、歳出増は、普通建設費や定額給付金事業などが主要因である。

#### 自主財源が乏しい

国・県・地方交付税の占める割合が69・6%と依存財源が大きく、自主財源の乏しさには注意を要する。起債の繰上償還により公債費減少に努めている。

### 水道会計

#### 10月から耐震対策

予測される南海地震被害等から、水の供給を守るため、配水池に停電時の作動が可能な緊急遮断弁を付け、流入管の逆流防止のため、新たに流入管を設けるなどの工事が22年10月から予定されている。

#### 貯蔵庫入り口を北側に

貯水タンク、機械室および貯蔵品類はよく整備されているが、貯蔵庫の入り口を北側に変更できないか。

#### 料金改定の検討を

水道料金は、県内では一番安い。修繕に要する費用は高騰しており、将来を考慮して料金改定を検討する時期にきている。

### 下水道会計

#### 最低50%以上の加入促進を

収入未済額、不納欠損額は減額に転じている。町債(借金)残額は1億553万円減額しており、適切な繰上償還等により公債費の減額を図ること。下水道加入率は49・1%で、22年度には最低目標の50%を超過するよう加入促進に努めること。

### 国保会計

#### 不納欠損が増加

収入済額は1億4596万円、調定額に対して83・05%。不納欠損額は時効による欠損処分人数が増えたことにより、前年より約80万円増額している。

### 簡易水道会計

#### 料金収入は99・9%

使用料および手数料は99・9%の収入済。町債(借金)残額の増は楠神簡易水道配水管布設替工事に要した借入金金である。

#### ●不納欠損額

予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなる金額。

#### ●収入未済額

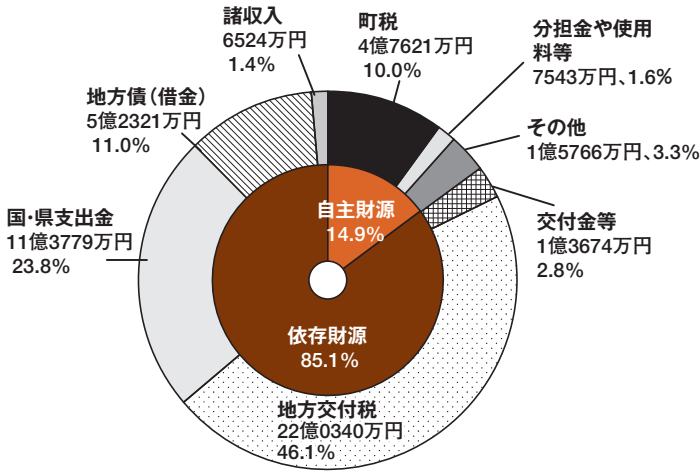
予定した収入のうち、出納閉鎖日(5月31日)までに入金されなかった金額。



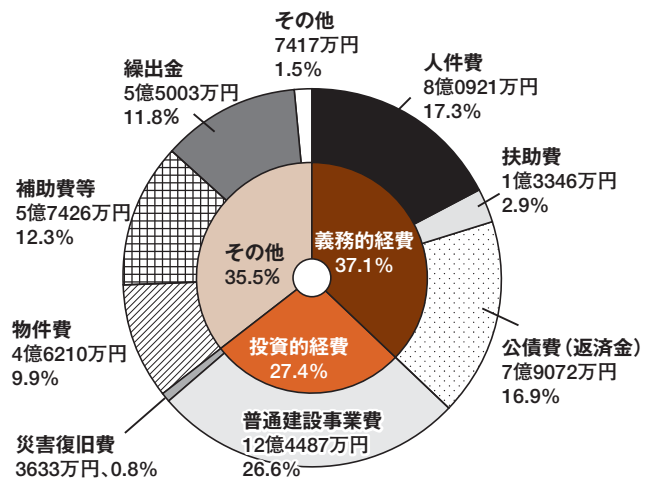
小舟団地公園の遊具を確認

# 21年度一般会計決算の内訳

歳入 47億7568万円



歳出 46億7515万円



## まちの財政力通信簿

区分年度	財政力指数 (3カ年平均)	経常収支比率	実質公債費比率 (3カ年平均)
19年度	0.20	95.2%	16.4%
20年度	0.20	93.3%	16.1%
21年度	0.20	89.9%	14.2%
説明	<p>行政が必要となる費用をどの程度で調達しているかを示す値。1に近いほど財政に余裕がある。</p> <p>人件費や物件費など通常の経費が一般財源に占める割合。90%以上は危険域とされている。</p> <p>町の収入に対する借金返済の割合。18%を超すと借入が許可制になり、25%を超すと単独事業は制限される。</p>		



## 21年度歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	47億7568万円	46億7515万円
特別会計		
簡易水道	3193万円	3187万円
国民健康保険	9億0969万円	8億5062万円
老人保健	1532万円	1330万円
下水道	1億8151万円	1億8142万円
土地取得	14万円	14万円
蚕糸資料館	26万円	20万円
自然の森博物館	4288万円	4288万円
介護保険	9億8132万円	9億4524万円
後期高齢者	9995万円	9853万円
企業会計(水道事業)	5039万円	4766万円
合計	70億8907万円	68億8701万円

### 決算質疑

**斎藤議員** 地域福祉振興基金(21年度末1億9474万円)は、金利のみを事業に使うことになっているが、最近では様々な地域福祉施策があり、元金も使えるように条例改正ができないか。

**藤原住民課長** 平成2年に設置しているが、低金利のため運用していない。使用目的が決まれば条例改正を考えたい。

**山橋議員** 片岡育英基金と越知町育英基金の貸付金の返還はされているか。

**北添教育次長** 一部滞っている人がいるが、自宅訪問などにより徴収を行っている。全額の徴収に今後も努力する。

# 21年度決算 赤字、資金不足はない

## 財政健全化判断

指標	健全化判断比率		早期健全化 基準	財政再生 基準	審査結果
	20年度	21年度			
①実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%	赤字なし
②連結実質赤字比率	—	—	20.0%	40.0%	赤字なし
③実質公債費比率	16.1%	14.2%	25.0%	35.0%	基準以下
④将来負担比率	51.9%	43.6%	350.0%		基準以下

## 経営健全化判断

会計名	資金不足比率		経営健全化 基準	審査結果
	20年度	21年度		
水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
簡易水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
下水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし

平成21年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、資金不足および赤字は生じていない。  
引き続きこの指標を注視し、健全な財政運営を維持しなければならない。

### ●実質赤字比率

普通会計（一般・土地取得・蚕糸資料館・自然の森博物館）の収入と支出を差し引いた額の標準財政規模に対する割合。

### ●連結実質赤字比率

町のすべての会計の赤字と黒字の差額の標準財政規模に対する割合。

### ●実質公債費比率

町の収入に対する借金返済額の3年平均の割合。18%を超すと起債（借金）は許可制になり、25%を超すと単独事業の借金は制限される。

### ●将来負担比率

借金の返済額や将来的に背負う借金、一部事務組合や第三セクターなどへの負担額などから、町の貯金や借金返済のための補助金や交付税を差し引いた額を、標準財政規模から交付税の借金返済に充てる分を差し引いた額で割った値。

### ●資金不足比率

公営企業の資金の不足額（赤字）が事業規模に対してどの程度あるかを示す比率。

### ●標準財政規模

自治体が標準的な状態で収入が見込まれる一般財源の規模。21年度はおよそ27億7700万円。



# 議会の改革に向けて調査・研究

## 特別委員会の設置を全会一致で可決

議会改革調査特別委員会の設置は、山橋正男議員から提案され、全会一致で可決しました。

二元代表制を踏まえて、より住民に信頼される議会とするため、議会および議員の役割を精査し、議員の定数や議会費、議会活動のあり方、議会基本条例の制定、その他、議会改革に関する課題について調査・研究を行う。委員は、武智龍(委員長)、藤原俊夫(副委員長)、寺村晃幸、片岡清則、山橋正男、斎藤政広の6人で構成し、調査が終了するまで閉会中も継続調査とする。



横畠小学校は平成15年4月に休校。毎年10月には運動会が行われ、地区民だけでなく、中学生や町内外からも大勢が参加して、地域交流の場となっている。

### 陳情

#### 横畠小学校廃校に反対

敗戦直後の横畠村は財政力が弱く、村と校下民が協力してできた学校であり、公平に気軽に親しめる場所として残してもらいたい。また、学校廃水路の復旧を放置して住民に迷惑をかけており、さらに宿泊施設にして排水を流すことは許されることはない。

陳情者 横畠中 片岡哲雄

総務教育常任委員会に審査を付託し、閉会中の継続調査とする。

# 宮ヶ奈路に水道施設

臨時会  
10月14日



宮ヶ奈路地区の水の不安を解消

**工事名** 片岡簡易水道(宮ヶ奈路地区)施設整備事業

**契約金額** 6195万円

**契約の相手方** 有限会社 片岡組

代表取締役 片岡大介

### 工事の内容

集落の北側に取水井戸を設け、水中ポンプ2基で地下水をくみ上げる。

配水池の容量は30トで、操作室や滅菌室を備える。配水本管は口径75ミ、延長354ミで消火栓を2カ所設置する。

配水支管は口径50ミ、延長234ミ。急傾斜地部分は地震や地盤沈下などに耐久性のある水道管を採用する。

高知ファイティングドッグス(FD)

公式戦をやるのか

愛媛チームとの練習試合／町長



山橋正男 議員

整備する。

スポンサー契約は1年で心配だが、県がFDを支援するための県民会議を発足させ、存続の努力をしている。

地域との交流や行事への参加、練習試合をすることなどによって経済効果になると思う。

小田企画課長

オフィス

**問** 会あることに愛媛県のチームと交流試合をしたいと言っているが、公式戦をするのか。また、メインスポンサーは来期の支援を決めたのか。

ホームタウンとしての経済効果は。また、町民総合運動場の整備関連予算の内容を聞く。

吉岡町長

公式戦はしない

が、愛媛チームとの交流試合を行って、国道33号の整備促進をアピールしてはどうかとべ町長から意見もあり、試合ができるように

北添教育次長

総額は1

億円で、設計管理委託に約600万円、防球ネットに約5000万円、球場の砂の入れ替えに約3000万円、その他客席やラバークッション、ブルペン整備など

を計画している。

財源の内訳は、県の補助金2000万円、過疎債(借金)7830万円となっている。

おち町

さらなる予算計上

**問** 4-7月までの収支で売り上げは伸びているが、支払いはどうなっているか。

開店から半年で、さらに予算を計上しているが、計画性がないと指摘されても仕方がないのではないか。

加工品を始める

小田企画課長

手数料収

入が264万円。支払いは人件費や水道料などで212万円だが、本年度に限り電気料とコピー機のリース料など、39万4000円を町が支払っている。

加工品がないため、ソフトクリームや魚のすり身を作るために予算を計上した。客の好みに合わせた品ぞろえで安定した売り上げを確保したい。

手抜かりがあった

吉岡町長

開店までの途

中で時間が掛かった。その後、急いで間に合わせたため、いくつかの手抜かりがあった。

**問** 廃止した場合の清算金はいくらか。

**答** 廃止しない考えだが、廃止になれば、清算金はいらないと考えている。

**問** 設立から平成21年まで毎年赤字で、約9億2000万円の赤字が出ているが、役員会はどれくらい行っているか。

**答** 構造的には破たんしていると思う。この際、仁淀川町が譲り受ける考えがあるとのことなので、無条件で渡してはどうか。

(株)ソニア

構造的に破たん

無条件で譲る／町長

問

高吾北広域町村事務組合のふるさと市町村圏基金利子の2300万円の使途は。

**答** ソニア運営のための資金だ。

問

国の雇用安定助成金の期間は300日と聞か、いつまでか。

**答** 9月ごろまでと聞いていたが、少し延びる。

答

本町が降りた場合、仁淀川町は1町でも引き受けると言ったことは事実だ。

無条件で譲ることは、佐川町と仁淀川町には伝えていない。

役員会は、現在は2カ月

に1回程度行っている。行き詰んでいる状態だが、再生検討委員会を検討しており、一定の方向付けの可能性もあり、時間をもらいたい。



加工品で売り上げを伸ばす

# 老人ホームの増設は

## 困難だが必要と思う／住民課長

### 高齢者問題



片岡清則 議員

**問** 今後、高齢者はますます多くなるが、老人ホームが満室で入所できない人が多いと聞く。待機者は何人か。また、老人ホームの増設はできないか。



入所できない高齢者の生活は深刻

今、マスコミで話題となっている戸籍上の生存者の問題はどうなっているか。

**藤原住民課長** 今後、高齢者数は大きく変わらないが、高齢者率は高くなる。

老人ホームの待機者は、五葉荘、春日荘、あがわ荘、もみじ荘で重複申請を含め311人で本町の人は76人である。

施設を増やすことは、今の国の基準では困難だが、見直しも検討されており、増設は必要と思う。

住民基本台帳での100歳以上の人は15人で、全員確認している。

ただし、戸籍上残っている人で住所のない人が、10歳以上は抹消する。

10歳以上が53人、150歳以上が4人で最高齢者は161歳となっている。

法務局の許可を得て110歳以上は抹消する。

### (株)ソニア

## 仁淀川町に任すと決めたがまだ結論は出てない／町長

**問** 3町の取締役兼町長と議長との話し合いの中で、「越知町と佐川町がやれないなら、仁淀川町が引き受ける」と仁淀川町の議長が言った。そのことを受けて、本町議会は仁淀川町に任すことを決めたが、その後の状況をどう考える。

仁淀川町は、再生検討委員会や広域議会で「引き受ける」と明言しているが、まだ結論が出ていない。

どのような形に進もうと我々は責任をもって対応していく。

清算をするとなると2億円の費用がいるようだが、取締役が議会に相談もなく、議決も得ずに借金をしており、責任は免れない。

**吉岡町長** 高吾北地区の大事な事業で、特に仁淀川町は山林資源が多く一番大事な事業だと思う。

借金は質権を設定して借りたもので、質権は森林組合にソニアが貸しているものと乾燥機購入に対してのもので、あくまで出資金の範囲内の運用である。

範囲を超えた運用なら問題だが、十分に考えた上で事務処理を行っている。

## 道路整備を急げ

答弁・小田産業建設課長

**問** 町道文徳五味線の側溝の蓋掛けを急げ。

**答** 計画的に実施したい。

**問** 町道山室線の災害箇所への復旧と越知温泉西の側溝蓋掛けは。

**答** 災害箇所はもうすぐ完成する。

側溝は調査して工法等を検討する。

**問** 町道野老山中村線の新設工事は用地問題で遅れているようだが。

**答** 測量委託しているが、現在見直し作業中で、工事発注は3〜4カ月遅れる。

**問** 遊行寺鬼ヶ島線の新設工事はどうなっている。

**答** 発注したが、県道接続に関連して県との協議が必要のため中断している。

**問** 小日浦集落内の新設工事の対応は。

**答** 急傾斜地のため、用地や工法に課題があり苦慮している。

**問** 堂林集落内の新設道路の延長はできないか。

**答** 昨年度は交付金事業でできたが、今後は作業班で検討する。



復旧が進む山室線



市原静子 議員

### 子宮頸がん

## ワクチン接種に助成を

### 来年度から実施したい／住民課長

**問** 若い女性に急増している子宮頸がんの発症を減らすためには、自治体が本腰を入れ、ワクチン接種を後押ししていくことが大切だ。

早期検診とワクチン接種で100%防げる病気であり、特定年齢へのワクチンの集団接種を全額公費助成で実施できないか。

**藤原住民課長**

ワクチン

接種は、中学1年生から3年生までの女子70人を考えている。

1人5万円として350万円を見込んでいる。

来年度から実施したいが、

副作用や行政の責任、集団接種が個別接種かなどの検討の必要がある。

ワクチン接種と早期検診で効果があり、現在、一定年齢の人にはがん検診の無料クーポン券を発行しているが、受診率が低いので啓発に努力する。



総合検診で病気をなくす

### 介護制度

## 立て替え払いの改善を 早急に実施する／住民課長

**問** 介護保険制度を利用して福祉用具の購入や住宅改修をする場合、18万円を上限として9割が給付されている。

**藤原住民課長**

今は償還

払い方式のため、全額立て替えには負担が掛かっている人もいます。

しかし、一度全額を立て替える必要があり、高額なため購入や改修ができないなどの問題が生じている。

対象者などの問題点もあり、それが解消すれば10月から、11月から実施したい。

1割だけを払う方法にできないか。



手すりが付いて楽になりました



工事前

### 林道京塚線の舗装

**問** 産業振興のため利用する林道で、地域住民が整備管理している。舗装の早期完成ができないか。

**小田産業建設課長** 全長

1367メートルで927メートルが舗

装済みで、残りが395メートルとなっている。

国の補助金等があれば早くできるが、町単独では単年度での完成は困難だ。

原材料の支給で、地元と町作業班が協力してやれば安くできるので、早期完成に向け努力する。

# 子どもたちの活動に もっと支援を

できることからやる／副町長



ファイティングドッグスの野球教室

子どもたちは、県代表として四国や全国大会に出場するなど、大変活躍しているが、父兄の負担が大きい。スポーツ振興のため、もっと投資して支援する考えはないか。

**吉岡町長**

急ぎ過ぎと思っていたが、県が支援会議を作り、財政的措置がされることでやりやすくなった。

今回2000万円の補助と過疎債（借金）を使って70%は交付税で戻る。また、特別交付税が認められれば、やる方が得と考えた。試合ができる球場が少ないので、できれば多くの人が使うようになることも考えて整備に踏み切った。

**岡副町長**

少年、少女のスポーツ活動は優秀な成績を収めている。必要な助成や設備はしなければならぬと思っているが、財政問題もあり、どの程度が適切か、関係者の意見や要望の内容により、できることからやっていく。

**問** 昨年の事業計画では、2年目は土の入れ替えとピッチングマシンの購入で3000万円であったが、今回1億円を超える補正予算が出ている。使用期間も不透明で、今すぐ整備するのは早すぎではないか。

## 残り3キロの計画は 強力に推進する／町長

**越知道路**



早期整備で落石の不安を解消せよ！

**問**

8月の国道33号への落石は、越知道路の計画区間で発生し、住民生活に大きな影響があった。今一度、国へ強く働き掛けなければならぬ。

計画がトンネルから現道改良に変わったと聞くと、残り3キロ区間の取り組み状況はどうなっている。

**吉岡町長**

土佐国道工事事務所から、ケヤキ谷から旧ドライブイン都までは、現在の国道を使うとの話があった。

## 全国レベルにない

**西森教育長**

本町は全国レベルに達していない。

小・中で学校改善プランを立て、半年に1回検証し、県と懇談会をしたり、子ども自身が理解度を自覚できるテストを活用して状況を見ていく。

中学校では、グループでの学習方法を取り入れて、授業が身に付くよう、先生全員が先進校の公開授業を視察研修している。

小学校は今年行う予定だ。

宿題は、学習した時間を記録する用紙を配り家庭学習の定着を目指している。

## 学力テストは

**問**

4回目の学力テストの分析が公表され、「知識より活用、応用力が課題」、「改善は不十分で小・中連

横畠小学校

# 活用計画への支援は

## 今は迷っている／町長



武智龍 議員

**問** 休校中の横畠小学校の活用計画案が、地元住民と行政の協力でできた。

実行するには、施設整備等に行政の支援が必要だ。実現の可能性について、どのように考えているか。



校舎は茶摘みツアーや健康セミナー、関西学院大生との交流などに活用されている。

**吉岡町長**

校舎の改築や事業内容は大変見事な計画だが、現段階では、来客のお世話が継続的にできるのか、行政におんぶにだっこにな

りほしくないかと心配をしている。これらが大丈夫ならスタートしたいが、今は迷っている。

## 支障木の伐採を 他町を参考に検討／町長



裏山に木が生い茂ると不安

**問**

山間地域では、成長した木や竹などが道路や家の周辺に押し迫り、通行に支障が出たり、倒れかかる不安や日照障害など生活環境の悪化に苦しんでいる。伐採等の費用を助成する制度を作る考えはないか。

**吉岡町長**

過疎・高齢化が進んで、こういう問題がちこちで起こっている。他町の例も参考に、財政との調整や作業班での対応も考えに入れて検討する。

## 宮ヶ奈路と稲村の 落石対策を急げ

**問**

宮ヶ奈路地区と稲村地区は、住宅地の裏山に落石の恐れのある石が複数あり、地元住民は非常に不安な日々を過ごしている。

落石防止対策や防災工事を急ぐべきだ。

**県に要望する**

**小田産業建設課長**

宮ヶ奈路地区は、県の急傾斜地崩壊危険区域に指定されている。

平成7年度に対策工事は終わっているが、今後もある。ただ住民の期待に沿えるよう要望していきたい。

稲村地区は、地すべり危険所ので、現在県がボーリング調査をしている。

その結果により今後の対応を考えるとということだ。

町としても、その調査の結果によっては転石等にも影響が出ると思うので、落石防止対策事業を県に要望したい。

## その他の質問

**問**

高齢者や障害者の自宅までの歩道に手すり設置等の助成を。

**答**

個人のことになると検討を要するので、時間をもらいたい。

**問**

柚ノ木集落に農業用水を整備する考えはないか。

**答**

非常に効果のある施設だが、地元で話がつけば実施したい。

**問**

稲村地区の飲料水ろ過タンクは全く機能していない。機能回復を急げ。

**答**

県の支援が得られそうなので、地元の話がまとまれば年度内に行いたい。

**問** これからの多様な高齢化社会に対応するため、低額で入居できる1人、2人暮らしの高齢者住宅は建設できないか。  
また、高齢者が気軽に集まれる場所づくりはできないか。



斎藤政広 議員

高齢者福祉

低額で住める住宅を

建設予定の町営住宅へ併設を検討／住民課長

旧郵便局跡地は産市も移転したので、適地と思うが、今年度の総合振興計画策定に向け研究できないか。

**藤原住民課長** 比較的元気な人の施設は必要と考えている。

学習センター跡地に予定している住宅に、福祉枠や別棟でできないか、運営方法や補助金なども含め検討する。  
気軽に集まれる場所は、

保健福祉センターなどで、あったかふれあいセンター事業を予定している。

旧郵便局跡地の活用は、東屋や公園化はどうかと思っているが、商工会の考えも聞いて検討する。

**吉岡町長** 旧郵便局跡地の活用は、ここ数年大きな事業が続くので、財政シミュレーションを検討して有効活用を考えたい。



商店街の駐車場として使われている郵便局跡地

横倉山

南面採石場跡地の購入  
価格折り合えば買う／教育長



採石場跡にはたくさん巨石が転がっている

**西森教育長**

所有者と面談したが、土地の境界や面積が不明のため、具体的な話にはなっていない。  
面積が分り、価格が折り合えば購入したい。

**問** 横倉山南面の大理石採石場跡地は、急峻な山で自然林が多く、石灰岩地特有の植物もある。

町のシンボルである横倉山の自然を将来に残すため、また、ジオパークにも取り組んでいるが、購入の進み具合はどうなっているか。

町の大事な宝物

**吉岡町長** 南面は珍しい植物や地形などもあり、本町の大事な宝物で、購入したいと思っている。

3月から相手側との交渉を急がせており、早急に結論を出したい。

学校給食  
共同調理場の建設

**問** 小中学校の給食共同調理場の建設を予定しているようだが、用地問題の取り組み状況はどうなっているのか。

25年度に予定

**西森教育長** 幼稚園、小学校、中学校の共同調理場を、平成25年度に小学校の西側に建設を予定している。

ただし、出生が極端に少なくなっており、規模や場所の変更なども検討しないとけない。

結論を急ぐ

**吉岡町長** 20年度から取り組んでおり、進入路のことも含め、何人かの地権者に価格も示し内諾をもらっていたが、時間がたち過ぎていたので、早く結論を出すよう指示している。

国道通行止め

# 迂回路に使われた町道の改修

## 幅員5mの新設道路を計画／産業建設課長



藤原俊夫 議員

**問** 8月16日の落石による国道33号の通行止めは、20日に片側交互通行になった。

予想以上に早く通行できるようにになり、利用者も安心したが、今後の対策はどのようになっているか。

また、迂回路として使われた町道が混雑したが、改修の計画はあるか。

**小田産業建設課長** 国交

省によると、被災個所を調査して関係する用地を買収し、法面の整形と法枠工、ストンガード（落石防護柵）の工事をするとのことだ。

迂回路の件は、筏津から栗ノ木方面に幅員5mの新設道路を計画している。また、筏津から深瀬方面の町道は待避所などを計画するので今回のようなことがあったので強力に進めていく。

### 交差点改良

## 30m間を1m広げる キリン西側の拡幅

### ／産業建設課長

**問** 国道33号の町道山室線分岐点（キリン西側）は見通しが悪く、道幅も狭いため通行に支障がある。もう少し広くできないか。

**小田産業建設課長** キリン西側の土地の一部を譲ってもらうことになった。

国道から30m間を約1m広げる計画だ。国交省と交差点協議をして承認されたら実施したい。



国道への出口が広がる町道山室線（写真左上）



蚕糸資料館はユニークな建物

### 蚕糸資料館の 駐車場の整備を

**問** 蚕糸資料館の植え木の中に草が生えて見づらくな

い。また、駐車場が狭いが、四国部品の東側のフェンスを少し引いて駐車場にできないか。

横倉山自然の森博物館と一体にして管理をしてはどうか。

### 来館者少なく困難

**西森教育長** 将棋クラブに管理と簡易な清掃を委託している。

外周は地域の人が一斉清掃などで協力してくれている。駐車場の件は、来館者が少なく、作ることは困難だ。

### その他の質問

**吉岡町長** 管理はシルバー人材センターなども検討する。

**問** 高齢者の緊急通報電話の協力者に対する事後の対応は。

**答** 当事者の意思によるが、協力者への事後の対応がないことは好ましくない。

**問** 福祉タクシー券の交付の対象者は。

**答** 自家用車やバスなどを利用できない特定の身体的・精神障害者。



# あれはどうなっちゅうが？

## 自衛隊との防災訓練を

(平成21年3月議会)

**寺村晃幸議員** 香川県の自衛隊第50普通科連隊約600人が香南市に移ってくるが、大規模災害を想定して、自衛隊と消防団、町民一体の防災訓練ができないか。

### 町で可能か関係者と話す

**町長** ヘリポートの自衛隊の緊急着陸の使用の許可をした。合同訓練が町独自で可能か、関係者と話し合いたい。

### 処理状況

### 具体的な進展はない

自衛隊の第50普通科連隊から相互の理解と連携強化を図るため、担当者や連絡先の通知があっているが、防災訓練などの具体的な進展には至っていない。



町民プール北西に夜間照明を備えたヘリポートが完成

## 広域議会

### 救急普及啓発の 広報車が寄贈される

財団法人救急振興財団から、救急普及啓発広報車の寄贈を受ける。

普通救命講習の受講率が人口比で一番高かったことが評価され、全国800消防本部の中から4団体が選ばれた。

広報車は7人乗り改造車で、発電機、音響装置、大型テレビ、訓練人形、119番通報訓練装置などを備え、屋外でも講習会ができるようになっており、地域住民の救命率向上と救急普及活動に力を発揮する。年度内に納車の予定だ。

### 定例会（8月31日）

### 職員員の飲酒検査

6月11日に組合職員が飲酒運転により検査され、職員は停職3カ月、所長・次長は減給とした。

「飲酒運転撲滅の誓い」に全職員に署名・押印させ、綱紀粛正を通告した。

### 21年度決算を認定

### 平成21年度決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	8億9918万円	8億7909万円
特別会計	特別養護老人ホーム	12億0833万円
	養護老人ホーム	1億1666万円
	知的障害者更生施設	1億5973万円
	ふるさと市町村圏	2485万円
合計	26億1776万円	23億8866万円

議会です  
さんには

# 出会い、いたわり、山を愛する

高知遠足倶楽部

<http://www.16.plala.or.jp/sanpo527/>



「高山病は若い人ほどなるから、私らあはなりにくい。ハハハ」



『高知遠足倶楽部』のリーダー北川實美さんと5人の仲間にお話をうかがいました。13年前に倶楽部を作った以来、月1回のペースで、20人くらいが一緒に山登りを楽しんでいます。中には、週2、3回で、山登りの合間に仕事という達人もいます。

メンバーは7歳から83歳までと幅広く、4分の3が女性です。いつも行く人、ちよつと休んでいる人、飲み会専門の人などさまざまです。にぎやかなことが好きで、楽しい人が入会の条件とのことです。

印象に残る山は、「八ヶ岳」「白馬岳」「富士山」と次々に出てくる。

「結局、みんなと一緒にならどこでも楽しいね。行き帰りのバスの中も眠れないくらいよ」と行くたびに素晴らしい感動を得ているようです。

「落石などにも遭ったが、大きな事故にはならなかった」

「普段はヘラヘラしゆうげんに耳を澄ますこともあるよ」と山での緊張感を述べられ、ケガや遭難の心構えも常に持っているとのこと。

最後にメンバーが「リーダーじっちゃん」は、いろんな世話を一人で切り盛りしている。だからみんなが楽しくやれる」と述べられ、北川さんへの信頼が厚いことを感じました。

これからも安全で楽しい『山登り』を続けてください。

追記：本紙はいつも読んで、議員の発言を毎号チェックしているとのことでした。



10.5\*を超すリュックには、地図やコンパス、応急ギブスや人工呼吸器、雨具などが入る

9月定例会の傍聴者は9人でした。  
次の定例会は12月です。  
多くの方の傍聴をお願いします。

## 編集後記

猛暑の長い夏が終わり、色とりどりのコスモスが風に揺れ、さわやかな秋晴れとなった。

しかし、国の情勢や町の財政は、決してさわやかとは言えない。

9月議会では、議会改革調査特別委員会を設置した。より住民に信頼されるため、議会活動のあり方を見直し、改革を進める必要がある、議員には大きな責任が掛かっている。

議会広報委員会も新しくなった。今までは男ばかりであったが、女性が加わったことで、違った感性も取り入れられると思う。

今後も、見やすく、住民に伝わる紙面作りに全員で頑張りたい。《学》

編集・発行責任者

議長 岡林幸政

議会広報調査特別委員会

委員長 岡林学

副委員長 斎藤政広

委員 斎藤智龍

委員 武智文一

委員 高橋静子

委員 市原静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。